

2019年9月9日
 凸版印刷株式会社
 タカヤ株式会社

凸版印刷、店頭在庫をリアルタイムで確認 ICタグを活用し、吊り下げタイプの商品棚に陳列されている在庫を リアルタイムで確認できるスマートシェルフを開発

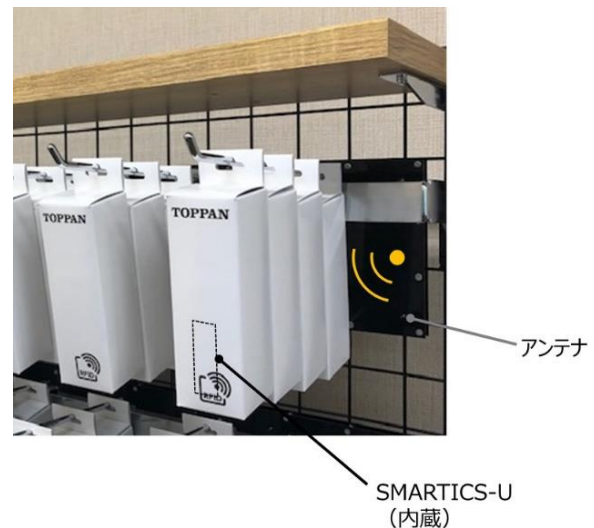
凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:麿秀晴、以下 凸版印刷)は、流通・小売店舗向けに、商品を管理する低価格 IC タグ「SMARTICS®-U(スマーティックス・ユー)」を2017年9月より提供しています。この「SMARTICS®-U」を活用して、リアルタイムに店頭在庫の確認が可能な陳列棚「スマートシェルフ」を開発・提供しており、このたび凸版印刷とタカヤ株式会社(本社:岡山県井原市、代表取締役社長:岡本龍二、以下 タカヤ)は共同で、吊り下げ型の商品陳列什器に対応した「スマートシェルフ」を開発。2020年度以降の販売を目指します。

本サービスは、外装パッケージにICタグが貼付・内蔵された商品を「スマートシェルフ」から取り出すと、それを自動で検知し陳列された在庫が減少したことをリアルタイムで認識することが可能な陳列棚です。従来の「スマートシェルフ」では、シート型のアンテナの上に商品を置くことで、商品の有無の検知を行っていましたが、今回開発した吊り下げ型の商品陳列什器に対応した「スマートシェルフ」では、吊り下げフックの部分にアンテナを装着しているため、任意の箇所で陳列が可能になります。

なお本サービスは、2019年9月11日(水)から13日(金)まで開催される「第21回 自動認識総合展」(会場:東京ビッグサイト)の凸版印刷ブース(南ホール 4F・A-84)にて展示します。



「スマートシェルフ」全体イメージ



読取イメージ

© Toppan Printing Co., Ltd.

■開発の背景

昨今、少子高齢化による人手不足や働き方改革が大きな社会問題となっており、特に流通・小売業界では、業務効率化や顧客満足度の高いサービスを少人数で提供していくことが喫緊の課題となっています。このような課題に対し凸版印刷は、店頭在庫をリアルタイムで把握可能な「スマートシェルフ」を提供。店頭での棚卸業務や、接客業務の省人化・効率化を支援します。

■本製品の特徴

・店頭で陳列された在庫をリアルタイムで確認可能

外装パッケージにICタグが貼付・内蔵された商品をアンテナが設置された「スマートシェルフ」に陳列することで、リアルタイムの在庫情報を把握することが可能です。今までは「店頭で何個陳列されているのか」「店頭の商品が品切れになっていないか」を店員が見回る必要がありましたが、欠品情報をリアルタイムで把握することができるため、店員は接客業務に注力することが可能になります。

・任意の箇所で商品の陳列が可能

従来の「スマートシェルフ」は、シート型のアンテナの上に商品を置くことで、商品の有無の検知を行っていました。今回開発した吊り下げ型の商品陳列什器に対応した「スマートシェルフ」では、吊り下げフックの部分にアンテナを装着しているため、任意の箇所で陳列が可能になります。また、棚と一体可能な什器であるため、簡単に設置や移動が可能です。

・サイネージとの組み合わせで効果的な広告配信が可能

「スマートシェルフ」とデジタルサイネージを組み合わせることで、商品を手にとった瞬間にデジタルサイネージ上でその商品の説明や関連広告の表示が可能です。従来は店員が行っていた、商品の詳細説明や、関連商品の提案業務の省人化を実現します。

■今後の目標

凸版印刷は吊り下げタイプの商品棚に対応した「スマートシェルフ」の読み取り精度の向上や、在庫管理システムのブラッシュアップを進め2020年度以降の販売開始を目指します。また、今後も「スマートシェルフ」をはじめ、RFIDを活用した省人化ソリューションを提供していきます。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上